



(件名)サハリンのウィンタースポーツについて

【「山の空気スキー場」について】

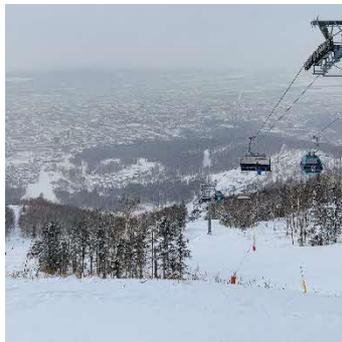
「山の空気スキー場」は日本の統治時代に開かれたロシア極東地域の中でも最大規模のスキー場です。14ものコースがあり、最長滑走距離が4.2km（札幌国際スキー場の最大滑走距離は3.6km）、全コースの総滑走距離は25kmに及びます。様々な形状のコースがあることから初心者から上級者までスキー・スノーボードを楽しむことができます。また、ユジノサハリンスク市内から車で約10分と、ウィンタースポーツを楽しむ人々にとっては絶好の環境にあり、街中ではウェアに身を包みスキー・スノーボードを片手にスキー場行きの循環バスを利用する市民の姿をみかけます。

近年は利用者が増えており2022年1月5日の利用者数は約6,000人と、昨年ピーク時の2月下旬の利用者数をすでに超えています。今後ユジノサハリンスク市の都市計画においては、リゾートホテルの建設が検討されており、世界中から観光客が訪れることが期待されています。

スキー場の様子



市街が一望できるグレンデ

**【ウィンタースポーツスクールについて】**

サハリンでは州の機関としてウィンタースポーツスクールが1970年に設立されました。クロスカン トリー、バイアスロン、スキージャンプ競技において、将来のロシア代表選手を育成することを目的とし、体力測定など諸要件をクリアした子どもたちがスクールでレッスンを受けています。

サハリンでは2019年2月に第1回冬季国際スポーツ大会「アジアの子供たち2019」が開催され、スクールで学ぶ子どもたちの多くがロシア代表として選出されました。当大会には北海道選手を中心とする日本選手団も参加し、金メダル1つ、銀メダル3つを獲得しています。また、この大会で活躍したロシアの選手は北京オリンピック冬季大会にも出場しています。

北京オリンピック冬季大会の女子スノーボードパラレル大回転競技では、サハリン出身のソフィア・ナディルシナ選出が出場し、惜しくも0.03秒差で決勝進出を逃しましたが、スキージャンプ混合団体競技では「アジアの子供たち2019」で優勝したダニール・サドレーエフ選手が銀メダルを獲得しました。

ジャンプ台を見学した際には当スクールのスキージャンプのコーチから、北京オリンピック冬季大会での日本選手の活躍を祝福いただくとともに、過去に札幌で北海道のジャンプ選手と交流をした時のお話をご紹介いただきました。

ウィンタースポーツは北海道、サハリンともに力をいれていることから、双方関心が高い分野であります。現在、往来は難しい状況ではありますが、絆を絶やさぬよう引き続きスポーツ分野など様々な分野で、サハリンと北海道の地域間交流の促進に努めてまいります。

ウィンタースポーツスクール



ジャンプ台



練習に励む選手

